

一般社団法人日本ビタミン学会平成 27 年度事業計画

1. 基本方針

当学会は、ビタミン学(ビタミン、その他のバイオフィクターに関する学問分野)の進歩、発展に貢献し、もって国民の健康増進に寄与することを目的とし、会誌の発行、年次大会、市民公開講座、表彰、研究助成などの事業を行っており、同目的を更に推進するため、平成 25 年 5 月 29 日一般社団法人の法人格を取得し、公益社団法人認定申請中であります。

今年度は、下記のとおり、公益法人に相応しい社会貢献に重点をおいた事業計画を策定するとともに、更なる、学会の活性化を図るため、新たな賞を設けるなどを計画している。

2. 事業計画概要

1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

ビタミン学に関する最新の研究成果や最近の動向を逐次会誌“ビタミン”により発信することより、同関連分野(医学・薬学・理学・農学・工学・栄養学)の研究の活性化・進歩・発展に貢献し、もとより国民の健康増進に寄与している。特に、最近の社会の動向や社会のニーズに応じたトピックスを毎号複数掲載しており、また、必要に応じて編集委員会で、国民の関心事をとりあげたタイムリーな特集を随時企画・実行している。

会誌の編集、掲載論文の審査等は、編集委員会が厳正に行なっており、年 11 回発行(1 月～12 月を 1 巻)している。

論文種類は、次のとおりである。

総説、総合論文、原著、ノート、研究論文紹介、ミニレビュー、トピックス、ほかに、随想、コラム、企業のページの欄を設けている。

また、公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集して JNSV(英文誌)を年 6 号発行している。

2) 年次大会、学術講演会

年次大会は、学会の目的を達成するため、理事会が大会委員長を選任し、大会委員長は、年次大会及び必要に応じて学術講演会、シンポジウム等を開催している。

開催地は、全国各地に及び、正会員、学生会員の研究成果の発表の場として、ビタミン学の研究の活性化、研究者の育成、地域連携を担っている。特に、学生の全国規模の発表機会として有効に活用され、優秀な研究者育成につながっている。

参加(聴講)は、会員に限らず一般の社会人・学生など不特定多数の者の参加が可能である。

◎ 平成 27 年度第 67 回大会

開催日：平成 27 年 6 月 5 日～6 日

会場：奈良県新公会堂(奈良市)

名誉大会委員長：中野長久(大阪府立大学名誉教授、大阪女子短期大学学長)

大会委員長：重岡 成(日本ビタミン学会長、近畿大学教授)

大会テーマ：ビタミン・バイオフィクター研究のさらなる魅力

～大和まほろばからの発信～

一般演題発表 111 演題(うち学生発表 46 演題)

一般演題発表のほか主要プログラムとして次の講演等を行う。

- ・特別講演 「プロスタグランジン D₂ に学ぶ：睡眠研究から筋ジス治療薬の開発まで」 裏出 良博(筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 教授)
- ・文化講演 「古典にみる「橘」について―神々の原郷を知る―」 千田 稔(奈良県立図書情報館 館長)
- ・シンポジウム 1 「ビタミン・バイオフィクターの男女間での栄養学」
オーガナイザー：山地 亮一(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)
- ・シンポジウム 2 「最近の健康強調表示システムと栄養機能研究の世界的な

動向」

オーガナイザー：阿部 皓一（武蔵野大学薬学部 SSCI 研究所、エーザイ
フード・ケミカル株式会社）

- ・学会賞受賞講演 2 題
- ・奨励賞受賞講演 2 題
- ・企画・技術・活動賞受賞講演 2 題

3) 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 学会賞

学会賞は、我が国におけるビタミン学の進歩発展に功績のあった研究に対し、毎年、学会賞、奨励賞を授与している。特に奨励賞は、将来さらに一層の進展が期待される研究を奨励する目的で若手研究者に授与している。

表彰制度は、単に会員の研究奨励のみならず、ビタミン学全体の活性化・進歩・発展に貢献し、もとより国民の健康増進に寄与することとなる。

学会賞は、その推薦を広く募集し、厳正に選考している。学会賞の選考は、理事会の決議により学会賞選考委員会を設置し、被推薦者の研究分野の専門家を選考委員に選出している。受賞者には、賞状及び副賞を授与し、年次大会等において受賞講演を行い、同内容は、論文として会誌に掲載している。

*平成 27 年度学会賞、企画・技術・活動賞受賞者（受付順、敬称略）

種別	受賞者・研究題目
学会賞	堀尾 文彦（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授） 「ビタミン C の生合成制御と生体防御・疾患に関わる生理機能の解析」
	宮澤 陽夫（東北大学大学院農学研究科教授） 「トコトリエノールの腫瘍性抗血管新生作用と食品応用に関する研究」
奨励賞	加来田 博貴（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授） 「レチノイド X 受容体を標的とした創薬に関する研究」
	榎原 周平（兵庫県立大学環境人間学部 助教） 「ビタミン B ₁₂ 欠乏によるアミノ酸代謝異常とその分子的作用機序の解明」
企画・技術・活動賞	研究代表者：上田 恭義（株式会社カネカ） 共同研究者：植田 尚宏、北村 志郎、久保 博司（株式会社カネカ）
	研究代表者：杉本 雅史（武田薬品工業株式会社） 共同研究者：北吉 正人、高内 誠二、大森 真治（武田薬品工業株式会社）

(2) 功績者

功績者は、我が国におけるビタミン学の進歩発展に特に功績のあった者に対し、授与する。

(3) 学生優秀発表賞

学生優秀発表賞は、年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で最も優秀な発表を行った者に対して授与している。（代議員等の投票に基づき、業務担当理事会で若干名選出し、賞状と図書券贈呈している。）

(4) 優秀研究賞

会誌の充実及びビタミン学研究の進歩・発展のため、優れたトピックス的な研究を発表した若手研究者を対象とした「優秀研究賞」を新設した。

ビタミン誌に1年間（1号～12号）に掲載された研究論文紹介、原著論文等のなかから特に優秀なものに対して、編集委員会の厳正な審査のうえ授与する

受賞者には、賞状と副賞を授与する。

(5) 企画・技術・活動賞

ビタミンとバイオフィクターの価値を科学的に裏付けて国民の健康と福祉に役立つような企画・技術・活動に特に貢献した者に対して授与する企画・技術・活動賞を平成26年度に新設し、平成27年度に第1回目の表彰を行う。

受賞者には、賞状と賞牌を授与する。

4) 市民公開講座及び地区活動の活性化

(1) 市民公開講座

広く国民にビタミンの知識を深め健康増進につなげるため、年1回市民公開講座を開催している。開催地は、できるだけ地域が偏らないように、全国各地を対象に毎年異なる地域と実行委員長を理事会で決定している。実行委員長は、開催地と国民の関心事を考慮して、テーマと講師を選考している。学生、一般市民、社会人などできるだけ幅広く容易に参加できるようなテーマと開催場所を設定し、参加費無料、事前登録なしで開催している。

◎平成27年度市民公開講座

実行委員長： 高田 二郎（福岡大学薬学部教授）

テーマ：「たっぷりビタミン・バイオフィクター学」—これから教科書にのる可能性のあること—

日時： 平成27年10月17日（土）

場所： 福大メディカルホール

講演：（4題）

* 科学研究費補助金研究成果公開促進費（B）申請（H26.11.10）

(2) 地区部会活動

地区部会活動を活性化するため、地区幹事を中心として研究会、シンポジウム等を随時開催し、研究の進歩・発展、研究者の育成を行なっている。開催にあたって、地区幹事からの申請を受け、一定の基準で開催経費を学会から補助している。

5) 研究奨励（国際学会参加補助等）

ビタミン学研究の進歩・発展のため、国際学会等への参加を奨励し、参加費用の一部を補助している。特に若手研究者の育成に重点をおいて補助し、ビタミン学研究の活性化を図っている。

研究奨励は、単に会員の研究奨励のみならず、ビタミン学全体の活性化・進歩・発展に貢献し、もとより国民の健康増進に寄与することとなる。

補助の内容は、国際交流委員会で策定し理事会で決定のうえ、公募している。

また、参加奨励する国際学会等の主催団体に対し経済的支援により助成している。

*今年度は、次の国際会議の後援者となるとともに共催シンポジウムの企画・参加する。

第12回アジア栄養学会議（ACN2015）

日時：平成27年5月14日～18日

場所：パシフィコ横浜

主催：日本栄養・食糧学会、日本学術会議

母体団体：アジア栄養学連合

6) その他

(1) 栄養機能食品制度検討タスクフォース

内閣府規制改革会議の提案事項（閣議決定）のうち「栄養機能食品の対象拡大」について、学会として積極的に取り組むためタスクフォースを平成26年3月設置し検討・提案している。

(2) ホームページによる広報活動

各種事業の案内・募集等ホームページを積極的に活用し、一般市民、会員に有用な最新情報を常に提供している。

3. 総会、理事会、委員会等開催予定

会議名	開催日	場所
総会	平成27年6月5日	奈良県新公会堂
理事会	平成27年4月29日	京都市国際交流会館
	平成27年6月6日	奈良県新公会堂
	平成27年11月 日	
	平成28年2月 日	
幹事会	平成27年6月4日	奈良県新公会堂
編集委員会	平成27年3月30日	日本イタリア会館
	平成27年6月 日	日本イタリア会館
	平成27年8月 日	日本イタリア会館
	平成27年10月 日	日本イタリア会館
	平成27年12月 日	日本イタリア会館
トピックス等担当委員会	平成27年6月6日	奈良県新公会堂
栄養機能食品制度検討タスクフォース	平成27年6月6日	奈良県新公会堂
業務担当理事会	平成27年4月 日	日本イタリア会館
	平成27年5月 日	日本イタリア会館
	平成27年6月 日	日本イタリア会館
	平成27年10月 日	日本イタリア会館
	平成28年1月 日	日本イタリア会館